

神の国の解放



シリーズ～神の国～ 2013/11/3

ルカ福音書19:1~10

イエスはエリコに入り、町を通過しておられた。そこにザアカイという人がいた。この人は徴税人の頭で、金持ちであった。イエスがどんな人か見ようとしたが、背が低かったので、群衆に遮られて見る事ができなかった。それで、イエスを見るために、走って先回りし、いちじく桑の木に登った。そこを通り過ぎようとしておられたからである。イエスはその場所に来ると、上を見上げて言われた。「ザアカイ、急いで降りて来なさい。今日は、ぜひあなたの家に泊まりたい。」

ルカ福音書19:1~10

ザアカイは急いで降りて来て、喜んでイエスを迎えた。これを見た人たちは皆つぶやいた。「あの人は罪深い男のところに行って宿をとった。」しかし、ザアカイは立ち上がって、主に言った。「主よ、わたしは財産の半分を貧しい人々に施します。また、だれかから何かだまし取っていたら、それを四倍にして返します。」イエスは言われた。「今日、救いがこの家を訪れた。この人もアブラハムの子なのだから。人の子は、失われたものを捜して救うために来たのである。」

金持ちで嫌われ者だったザアカイ

徴税人

- ローマ帝国に納める税金を同胞であるユダヤ人から取り立てる仕事
- 「罪人」と呼ばれる神様の祝福を受けられない人
- 当然人々に嫌われていた

金持ち

- ローマ帝国の権威を利用して多く取り立て、私腹を肥やしていた
- 金を貯めることが彼の生き甲斐だった

イエス様を見ようとしたザアカイ

- 彼の町にイエス様が来られると聞き、何とかして見たいと思った
 - ラビ(宗教的教師)でありながら自分と同じ徴税人を弟子(マタイ)にしているらしい
- 木に登ってイエス様を見ようとした
 - 「背が低かったので、群衆に遮られて見ることができなかった」→邪魔されたのでは?
 - 「走って先回りし、いちじく桑の木に登った」

ザアカイの客となったイエス様

⑧ 木に登っているザアカイに、イエス様が突然声をかけられた

○「ザアカイ、急いで降りて来なさい。今日は、ぜひあなたの家に泊まりたい。」

○「泊まる」という行為は親しい間柄を表す

⑧ ザアカイは喜んでイエス様を迎えた

○「急いで降りて来て、喜んでイエスを迎えた。」

○「これを見た人たちは皆つぶやいた。『あの人は罪深男のところに行って宿をとった。』」

○イエス様も「罪人」になったということ

突然改心したザアカイ

☞ ザアカイはこれまでの悪行を改めると宣言した

- 「主よ、わたしは財産の半分を貧しい人々に施します。また、だれかから何かだまし取っていたら、それを四倍にして返します。」
- 「今日、救いがこの家を訪れた。」
- ザアカイは金から解放され、神の国に入った！

☞ 金持ちが神の国に入ることはほとんど不可能だとイエス様は言われたのに…

- 「金持ちが神の国に入るよりも、らくだが針の穴を通る方がまだ易しい。」18:25

「人の国化計画」進行中!

☞ ザアカイは「人の国」の代表である

- 金に支配され,人との関係を断ち切り,孤独
- しかし,それで本当に満足しているわけではない!

☞ サタンは神と人の関係を破壊し,人と人の関係を破壊しようとしている

- アダム・エバ,カイン・アベル
- 単身世帯の増加,信頼する力の低下
- 「人の国」は人が不幸になっていく国

神の国を拡大するために

☞ イエス様がなされたようにする

- 「今日は、ぜひあなたの家に泊まりたい。」
- 犠牲を払って友になる

☞ 人とつながる力が、神とつながる力になる!

- 人との絆が金との絆を断つ

☞ あなたのまわりにも「失われた人」が大勢いる

- 「人の子は、失われたものを捜して救うために来たのである。」